

8-4-34 システム改善専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動概要

近年、品質、環境、情報セキュリティ、アセット、労働安全衛生等 建設コンサルタントに關係するマネジメントシステム規格が多く JIS 化されてきており、各企業は複数のマネジメントシステムを効果的に運用することに取り組んでいる。特に、建設コンサルタントにおいてはエラーの撲滅は最大のテーマであり、協会会員企業の多くにとって、成果品のエラー防止のツールとして品質マネジメントシステム (QMS) を有効活用することが課題となっている。マネジメントシステムは情勢に応じて見直していくことが必要であり、当専門委員会では、会員企業が QMS を含めたマネジメントシステムを効果的に運用できるよう、有益かつ最新の情報を提供していくことを目的に活動を行っている。

(2) 専門委員会の開催

委員会は 7 月・3 月を除く毎月 10 回開催した。

(3) QMS(品質)に関する主な内容

- ・QMS について、ISO9001 の 2015 版への移行に伴い実施した会員企業にアンケート（平成 30 年 2 月）結果のうち、外部審査で指摘された内容について整理・分析を行い、対応策として有効に運用されている事例を収集した。
- ・9 月に地域版 QMS である NPO 法人サッポロ QMS へのヒアリングを行い、地域版 QMS の認証取得の効果や今後の見通し等について情報収集した。

(4) AMS(アセット)に関する主な内容

- ・AMS (JIS Q 55001) の認証を取得する建設コンサルタントが増加しつつあることから、AMS に関する最近の動向について調査、検討を行った。これらの結果は平成 30 年度の研究成果とともに論文「アセットマネジメントシステム活用に向けた建設コンサルタントの動向」にとりまとめ、10 月の日本アセットマネジメント協会 (JAAM) 研究発表会にて発表した。当該論文は JAAM 賞を受賞した。

- ・2 月に「建設コンサルタントにおけるアセットマネジメントシステム認証の意義」と題した勉強会を開催した。

(5) 会員アンケート、ヒアリングの実施

QMS、EMS、AMS、ISMS (情報セキュリティ)、OHSMS(労働安全衛生)などのマネジメントシステムの最近の動向について 12 月に協会会員企業へのアンケートを行った。情報セキュリティに関し会員企業へのヒアリングを行った。

(6) セミナー開催

当委員会の主な活動の成果を、7 月に全国 9 支部で開催された「マネジメントセミナー」で報告した。なお、会員企業の参考に資するため、セミナーで使用したパワーポイントは協会ホームページに掲載している。

(7) その他の活動

2 月に土木学会 ISO 対応特別委員会の委嘱を受け、委員長が協会として委員参加した。

2. 次年度の活動について

令和 2 年度は、マネジメントシステムを効果的に運用していく上での問題点及びその解決策等の情報を会員企業に提供することを目的に、これまで同様、マネジメントシステム全般の最新情報や業界の動向、今後の方向性に関する調査・分析を進めていく。

具体的な活動は、以下のとおりである。

- ・受注業務の情報管理におけるリスクに着目し、ISMS に準じた管理の効果を事例とともに紹介する。
- ・AMS の最近の動向や認証を受けた企業の運用状況について調査し、結果を論文にとりまとめ JAAM 研究発表会にて発表する。
- ・OHSMS の動向について情報収集する。
- ・マネジメントシステムの全般にわたり、最新の情報を収集する。
- ・上記に関連する内容について、アンケート、ヒアリング、勉強会を開催する。
- ・マネジメントセミナーでこれらの調査検討結果について運用事例を中心に紹介する。

(システム改善専門委員会委員長 鵜殿 俊昭)